

(特非) 棚田LOVER's

全国に広げるための棚田エコ学園による人材育成と棚田LOVER'sフェス、戦略会議による生物多様性棚田活動戦略の改定、生物多様性普及啓発活動

活動地域  兵庫県



棚田ラバーズフェス

課題

住民88人中、農地の後継者は、34人がいないが探していない、また、9人がいないが探しているという現状で、赤字の経営・少子高齢化・作業効率の悪さが課題。担い手育成急務。

目標

農、食、環境に関心がある人がお米を育てる体験を通じて、持続的な棚田保全のための組織体制が確立され、棚田の保全が促進する。



今後の展望

- 石垣積み、味噌、納豆づくり体験などの企画を通じて米を育てる参加者の拡大を図る
- 他の地域の棚田団体や大学等とも連携する
- 担い手、ファンを増やすため、棚田サミット、世界棚田サミット開催を目指す

はじめる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 成果1 棚田保全の認知度を高めた
まずは、本事業及び棚田エコ学園の活動を通じて、棚田の有する多面的機能とその重要性をより多くの人に気付いてもらうことができ、全国に広げることができた
- 成果2 棚田保全に関する知識の教養・経験者の増加
学園により、棚田保全に関して興味はあるがどう関わればよいかよくわからない人に対し、農作業体験や講義等を行い、知識を深めるとともに、実践的な経験を積む場を提供できた
- 成果3 新たな棚田保全の教育者・リーダーの育成を8人を中心にした



棚田エコ学園稲刈り実習

エコ学園の参加者 8人

フェス参加人数 400人

今年度計画の達成度 90%

目標達成度 90%

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

助成金の手続きで初めてでわからない部分が多く、実際の事業との同時並行に時間がかかった。丁寧な対応に感謝。

工夫した点

140程度の多くの団体と連携し、米を育てる体験では、各回40人程度、棚田フェスでは40団体の出店集客を工夫した。

〒679-2326
兵庫県神崎郡市川町谷915
電話：03-6433-3106
E-mail：tanadalove@yahoo.co.jp
HP：http://tanadalove.com/

